



コピス発！環境教育のためのプログラム

『ネイチャー・ボード』 シリーズのご紹介



『ネイチャー・ボード』は、コピスが開発した身近な生き物のくらしを学ぶボードゲーム。
この冬はゲームでビオトープづくりを体験してみませんか？



プレイヤーがビオトープ
の設計者となる『カモ池
ビオトープ』

冬の水辺は北の国から渡って来たカモたちで賑わい、バードウォッチャーの目を楽しませてくれます。カモはからだが大きく、開けた水辺でじっとしていることが多いので、バードウォッチング初心者でも、比較的容易に観察することができます。

『カモ池ビオトープ』は、そんな身近な冬の使者であるカモと、その生息環境を題材としたゲームです。プレイヤーひとりひと

りがビオトープの設計者になり、池に見立てた「ビオトープボード」に、水辺植物や水中植物などの「環境カード」や「カモカード」を使って、カモが集まるビオトープ池をつ

くります。「カモカード」には、マガモやカルガモなど身近なものから、ガンやハクチョウの仲間まで、全部で12種類の水鳥が登場します。それぞれ種類ごとに利用する環境が

色分けされているので、カモについて詳しくない人でも、絵合わせ感覚で楽しむことができます。

また、カードの中には住宅開発や護岸工事といった「災害カード」も含まれており、せっかく集まったカモが飛び去ってしまうアクシデントも起こります。

対象年齢は8歳以上ですが、人対人の駆け引きもあるので、大人でも充分楽しめる内容になっています。



プレイヤーが設計者になって、ボードの上にカモが集まるビオトープ池をつくる『カモ池ビオトープ』

足は体の後方に付いている。

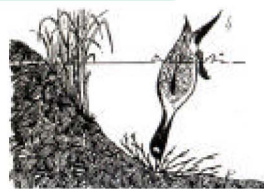


潜水採食ガモ



水中に潜って泳ぎ、水底近くに沈んでいる種や底に生えている水草などを食べる。比較的深い池や大きな河川などにいる。

種類によって
採食の姿勢が異なる



水上で足をバシバシ動かし、水底の水草の茎や根などを食べる。水底にくちばしが届く程度の比較的水辺にいる。

足は体の真ん中に付いている。



水面採食ガモ

